

## 1号議案

### 令和元年度 事業報告書

令和2年5月10日  
特定非営利活動法人地域人ネットワーク  
代表理事 白瀧 康次  
電話番号 048-689-0905

#### 1. 事業の成果

当法人の目的は、会員が有する経験や知識・能力を生かして、団体として地域の課題に取り組み地域の発展に寄与すること、ならびに活動を通じて会員の「生きがい」と健康で自立性のある生活を創造することにある。

定款に定めた4事業、すなわち、会の創設以来進めているパソコン教育事業、地域の情報交流を高める事業、まちづくりに係る協働事業、並びに見沼たんぼの環境保全と青少年育成を目的とした農業体験事業を行政当局と協力して推進し着実な成果を上げた。

これらの事業に対応した当法人の正会員数は令和元年度末で33名（男性24名、女性9名）である。

以下に事業毎に報告する。

##### 1) 情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業

本年度は年度後半に新型コロナウイルス感染防止のために市施設が休館となり当法人の活動も制約を受けた。

「パソコン相談サロン」は、パソコンやITの進展に戸惑う高齢者市民を主な対象とした個人別の無料相談会として、毎月1回見沼区内の4つの公民館を巡回している。本年度は3月の開催が中止となり11回の開催にとどまったが、延べ103名と昨年度並みの相談に応じた。平成17年4月の開設以来15年間では延べ1,888名の相談者に対応して来た。最近はスマホに関する相談も散見され相談者から大変感謝されている。

本年度外部から依頼された「パソコン講座」は、片柳コミュニティセンター主催のパワーポイントの講座1回（2日間）であったが、本年度も受講希望者が多く、また他の講座に比べて若年層が多いのが特徴的であった。

自主事業の「パソコン楽しみサロン」はパソコンを楽しみながら学ぼうという趣旨で、高齢者や主婦層のニーズを取り入れたサロン風の会員制のパソコン講座であり根強い人気がある。指導に当たっている当会メンバーにとってもいい勉強になっていることを忘れずに今後も継続していきたい。

令和2年度から小学校ではプログラミング教育が実施される。当法人も何らかの支援をするべく、本年度はさいたま市マッチングファンドを活用し、さいたま市のICT推進部門との協働事業として講師養成講座（含む専門家による講演）を4回、小学生

を対象とした体験教室3回と全5回シリーズの実践教室を2回開催した。また、公民館からの依頼による体験教室も1回開催した。

## 2) 地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業

地域の公益団体のホームページの運営を支援することにより地域の情報交流を高め地域の活性化に資することを目的として事業を展開している。令和元年度は新たに片柳地区社会福祉協議会から支援の要請があり、新たなホームページを開設した。その他、前年度に引き続き4団体（さいたまスポーツ、あすも、大砂土東地区社協、大宮見沼ライオンズクラブ）のホームページの運営支援を継続して行なっている。

## 3) まちづくりに関する提案および協働事業

NPO法人として以下のまちづくりや協働事業に参画した。

- ◇ 見沼区市民活動ネットワーク
- ◇ 見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会
- ◇ 未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会
- ◇ 同上委員会発行の冊子「見沼旬彩」の編集・刊行活動
- ◇ 七里コミュニティセンター地域連絡協議会
- ◇ 東大宮コミュニティセンター地域連絡協議会
- ◇ 見沼区ふれあいフェア参加及び出展
- ◇ さいたま市市民活動推進委員会
- ◇ 見沼たんぼの文化遺産・フナノ保存会

## 4) 環境保全および青少年育成支援を目的とした農業体験事業

埼玉県の見沼たんぼ公有地利活用事業に平成20年度から参画し、「見沼たんぼ菜の花農業体験教室」として、埼玉県から委託された公有地の保安全管理をしながら、公募した県民が見沼たんぼの自然に接し農業体験ができる事業を展開している。

本年度は31家族106名の一般応募参加者を得て、農業体験教室を9回計画し、最終回は新型コロナウイルス感染防止のために中止となったが、若い夫婦や子どもたちとともに野菜づくりの農業体験や見沼たんぼの自然や歴史の勉強を行った。

本年度の8回の体験教室参加者は延べ402名（うち、子ども210名）で、平成20年以前の子ども教室を含めると、131回の教室の開催で、延べ5,617名（うち、子ども2,934名）の参加があった。

本年度期中に長年使用したトラクターが使用不能となったため、急遽公益財団法人サイサン環境保全基金の助成金を申請、新しい機械を購入できて大変ありがたかった。

なお、本事業を推進するため本年度の体験教室の運営と日常の田畑の保守管理に従事した当会メンバーの人数は延べ498名であった。

2. 事業の実施に関する事項（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施時期・頻度	実施場所	従事者の人数	受益対象者 範囲 人数		支出額 (千円)
情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業	パソコン相談サロン	4月より3月 まで月当たり1 回	見沼区内 公民館	延べ92 名	見沼区 内シニア・主婦	延べ 102名	584
	パソコン講座	8月に2日間 講座を1回	コミュニ ティセン ター	延べ12 名	さいたま 市内	延べ 40名	
	パソコン楽しみサロン	4月より3月 まで半日単位 で24回	コミュニ ティセン ター	延べ270 名(半日 単位)	さいたま 市内	延べ 218名	
	プログラミング講座 市民向け講座 小学生向け体験教室 小学生向け実践教室	5回全日 4回半日 2期全5回	コミセン コミセン コミセン	延べ 180名	市内 市民 小学生 小学生	延べ 100名 70名 200名	
地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業	各種ホームページの更新・保守管理	全期間、適時	事務所他	延べ 60名	見沼区内 市民	不特定	
まちづくり提案と協働事業	市民活動ネットワークへの参画	4月より3月 まで	見沼区、 さいたま 市	延べ20名	さいたま 市、見沼 区	不特定	21
	見沼区区民フェア等への参画	4月より3月 まで	見沼区、 さいたま 市	延べ25名	さいたま 市、見沼 区	不特定	
環境保全と青少年育成を目的とした農業体験事業	見沼たんぼ菜の花農業体験教室(埼玉県委託事業)	5月より3月 迄教室開催8 回および全期 間にわたり田 畑管理	見沼たん ぼ	延べ166 名(委託 事業全体 で延べ 498名)	埼玉県県 民	延べ 568名	2,385